

2013年9月8日

10周年ありがとうの日



9月8日の日曜日、たくさんのお力を貸していただき、無事に「10周年ありがとうの日」を開催することができました☆
 イベントの費用はタケダ・ウェルビーイング・プログラムの助成から、会場はECCコンピュータ専門学校さまが、すてきなラウンジを貸してくださいました。ウェディングハウスパル法円坂(しづたねが最初の頃「きょうだいの日」を開いていた会場の隣の結婚式場です)社長の野村さまからは「子ども達が楽しく過ごせるように」と、ジュースの差し入れをたくさんいただきました。

当日は70名ほどの参加があり、子どもたちの可愛い笑顔を見ることができました。来てくれたきょうだいさん、ご家族の方、ボランティアさんや大人の方々、みなさまが「楽しむぞー!」という雰囲気でご来りいただき、しづたねはたくさんのお力、この気持ちに支えられて10年続けてこれたのだなあと思

ごぼう袋で作る「ごぼうくろけつ」コーナーでは、羽根やシールを貼ってオリジナルロケットを作り、的をねらって何度も飛ばして、両脇を抱えて帰るお子さんも。画用紙でつくったワニ釣りコーナーでは、「ワニ釣り名人」がたくさん誕生。ボスワニを釣った子は「伝説のワニ釣りマスター」のシールが胸に輝いていました☆いつでも人気のふうせんねんどは、今回も、デロン!ブケー!とのびたりふくらんだり、歓声が上がっていました。きょうだいさんへのメッセージや、お願い事を書いた紙を巻いてつくったビーズでプレスレットをつくるコーナーは、きょうだいに、お友だちにと、すてきなおみやげを次々に作っていました。ボランティアさんによるマジックコーナー、おやつコーナー、おもちゃコーナー、どれもそれぞれに盛り上がり、寄せ書きの葉っぱは長く長く伸びて、たくさんのお力、きょうだいさんへの想いが花を咲かせていました。

楽しかった10年は、支えてくださったみなさまと、笑ってくれたきょうだいさん、ご家族のみなさまのおかげです。これからも、たくさんのお力、あたたかなお気持ちを、しづたねを通して、きょうだいさんに渡していきたいと、みんなが決意を新たにしました☆

寄せ書きに協力してくださったみなさま、本当にありがとうございました!きょうだいさんを応援する気持ちでぐんぐん伸びた葉っぱ!寄せ書きを担当してくれたスタッフなおからコメントを☆

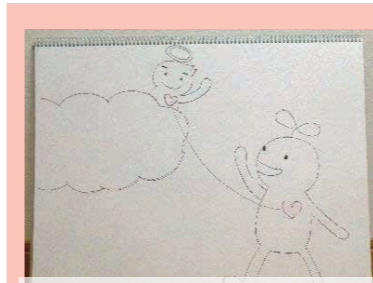
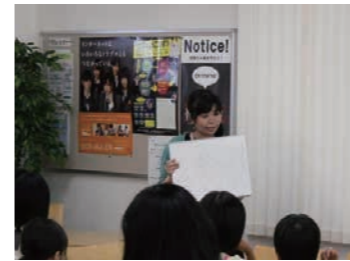
いつもがんばっているきょうだいさんたちに、こんなに応援してくれている人がいるんだよ、と目で見えて欲しい...そんな想いから始まり、どんどん構想を膨らませ...でも膨らむだけで全然進まず(汗)、お助けマンまるちゃんが現れ何とか形に(こだわり過ぎる似たもの同士のスタッフたち...)。それと並行してお手紙攻撃開始!今までつながりあるみなさまに連絡を取り、日夜収集を重ねました。お久しぶりのみなさまの嬉しい近況報告や「10周年なんてすごい!変わらぬ姿勢が素敵☆」という言葉がまた励みに。当日もたくさんのお力を感じ、葉っぱはあふれ、横にも台紙を追加するという嬉しい事態に。きょうだいさんたちへの想いがこもったメッセージばかりでした。心残りだったのは、私情報網では網羅しきれない方々のこと...するとなんとレンジャーさんたちからもうひとつの色紙のプレゼントが♪このあたたかさがしづたねのパワーです。

スタッフなお

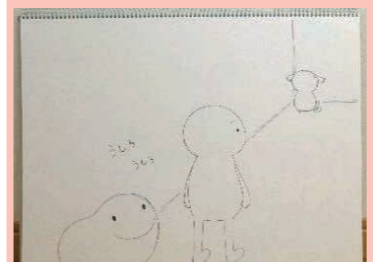


しづたねのおはなし

しづたねができてから今までのこと、はじめて子どもたちに聞いてもらいました。どうしてしづたねをつくらうと思ったのか、どうやって今のしづたねになったのか、みんながどんなに大切で、どんなに私たちに力をくれているか...
 ちゃんと伝えられるかなどドキドキでしたが、みんなまっすぐな瞳で聞いてくれました(見づらくてすみません。全文はブログにアップしています)。



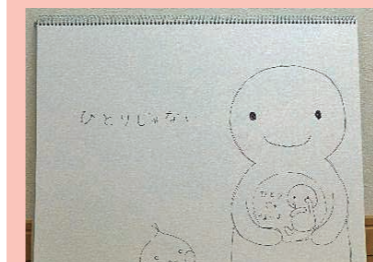
私には、天国に弟がいます。すぐに会うことはできないけど、心がつながっているからだいじょうぶ。



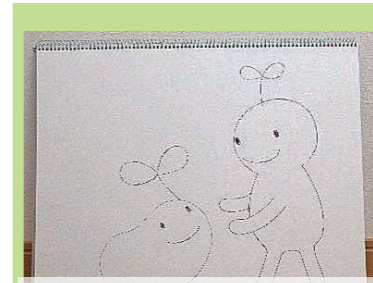
中学生の時、弟が入院している病院に行くと、小さいきょうだいさんが毎日廊下で泣いていました。何かできることはないのかな、そう思った気持ちがしづたねのたねになりました。



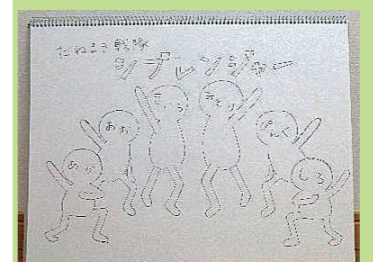
アメリカできょうだい支援をしているドナルドマイヤーさんが日本の小さなきょうだいさんに言いました「きみはひとりじゃないよ」



私は自分の中の小さな私にも「ひとりじゃないよ」と言ってもらったように感じてほろほると涙が出ました。



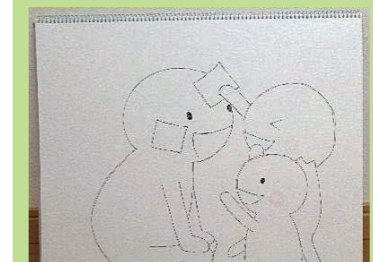
日本中にいる小さなきょうだいさんたちにもひとりじゃないって感じてほしい。安心できる場所を、人を、増やしたい。しづたねがうまれました。たねまきのはじまりです。



どうしたらきょうだいさんの味方だよって伝えられるかな、どうしたら笑ってもらえるかな、考えていたらヒーローがうまれました。シブレンジャーはきょうだいさんのためのヒーローです。



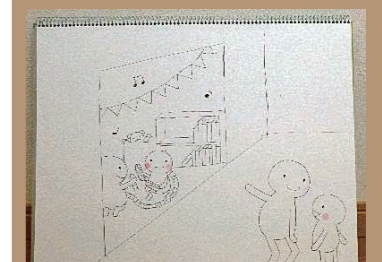
きょうだいの日、最初から楽しんでくれる子もいればドキドキしてカチカチの子もいます。はじめての場所だもん、緊張するよね。



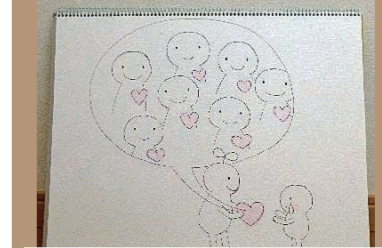
でも...1日が終わった時、いっぱい走ってあそんで笑ってシブレンジャーの顔にシールを貼っていたはずらしてました。みんな可愛くて、うれしかった!



きょうだいさんたちは、私たちや親御さんが「大好き」って思う気持ちを、とっても上手にうけてくれます。笑ってくれるだけで私たちは大きなごほうびをもらった気持ちになります。



ずっと心配だった、病院にいるきょうだいさんと一緒にあそぶ活動もはじまりました。もっとたくさん病院にきょうだいさんが安心していられる場所をふやしていきたいです。



10年間のたねまきの中で、たくさんのお力、きょうだいさんのしんどさを知ってわかってきて、応援したいなって言ってくれました。たくさんのお力、あたたかい気持ちが、私たちを通してきょうだいさんに届くように、これからも楽しいたねまきをみんなで続けていこうと思っています。

おみやげのたねつきハガキ↓



芽は出たかな?